

## 第6章

## 区別展開







## 区別展開

### 6.1 振興方策のあり方

ここでは、本市の行政区を基礎とする6つ\*の地域毎に、農業・農村の現状と課題及び地域の振興方策を明らかにします。

なお、「第4章 農業構想の実現方策」で記載した取り組みは、「食と花の都」の共通課題として全区共通で取り組むものとし、区別の展開では、特に地域毎の特徴的な取り組みを記載しています。

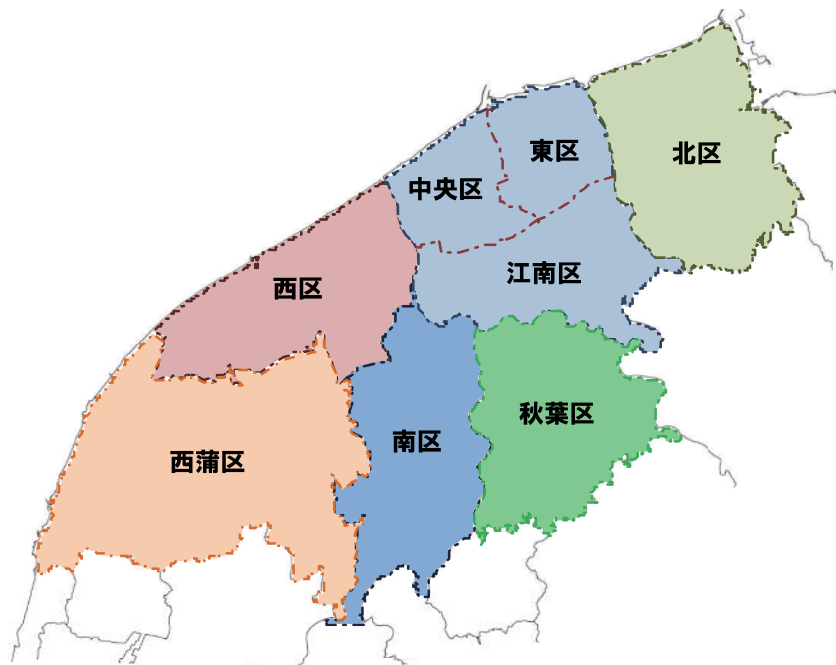


図6.1-1 本市の行政区域

※本市は、北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区、西蒲区の8つの行政区があります。

東区及び中央区については、他区に比べ農地が少なく、また地形が、信濃川・阿賀野川・小阿賀野川に囲まれた輪中地域として江南区と連坦した環境にあることから、1地域として取り扱い計6地域としました。



# 6.2 区別展開

## (1) 北区

地域の特性と課題

- 福島潟や海岸保安林内の海辺の森、濁川の農業体験施設（市民農園）など交流資源が豊富です。
- 福島潟自然文化祭やキテ・ミテ・キタクを通じて、都市と農村の交流が行われています。
- 海拔0m以下の農地が存在し、集中豪雨時には湛水被害も発生しやすい条件にあります。また、砂丘畑の農業生産基盤の整備が遅れています。
- 米を中心に、露地野菜、果樹、施設園芸、花き等、多種多様な作物が栽培される都市近郊型の産地です。海岸砂丘地帯ではすいか、メロン等の生産が特徴的です。
- トマトとなすは県下一の出荷量を誇ります。
- 阿賀野川、新井郷川、福島潟、農業用排水路などの水辺空間や海岸林は、都市の中に豊かな自然環境を創出する空間であり、貴重な生物資源を保全する機能も担っています。
- 水害に対する防災対策並びに農業用水の確保が、地域の重要な課題でした。また、都市化の進んでいる農村地域においては、用排水路の水質が悪化しています。

農家数・人口

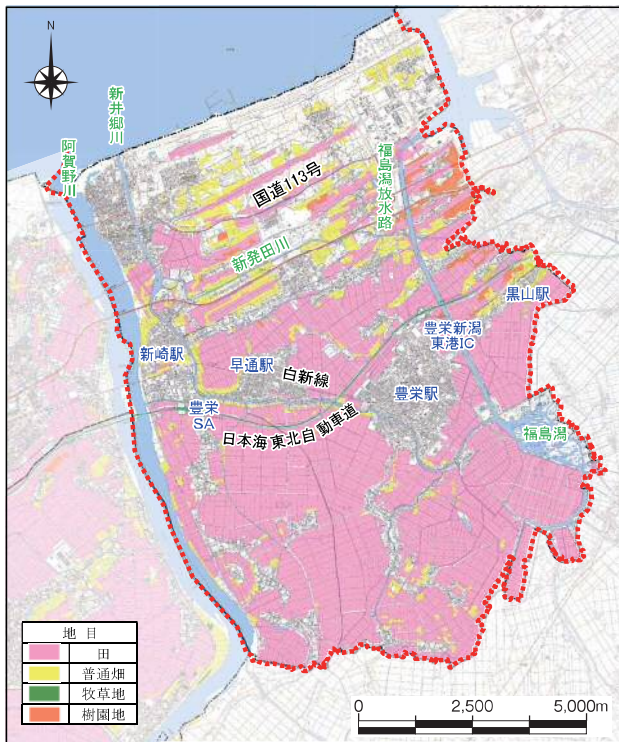
■ 総農家数：1,992戸	■ 土地持ち非農家：1,369戸								
■ 農業就業人口（販売農家）：3,069人									
<table border="1"> <tr> <th>専業</th> <th>第1種兼業</th> <th>第2種兼業</th> <th>自給的</th> </tr> <tr> <td>309戸</td> <td>346戸</td> <td>868戸</td> <td>469戸</td> </tr> </table>	専業	第1種兼業	第2種兼業	自給的	309戸	346戸	868戸	469戸	
専業	第1種兼業	第2種兼業	自給的						
309戸	346戸	868戸	469戸						

出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

主要作物

米、大豆、だいこん、にんじん、ばれいしょ、さといも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、メロン、すいか、えだまめ、日本なし、ぶどう、トルコギキョウ・キクの切花、いちご、さつまいも、チューリップの球根、肉用牛、採卵鶏 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地



出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図25000」（国土地理院）より作成

### ● 経営耕地面積 （平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積（ha）	4,345
田	3,847
畑	466
樹園地	32



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章



## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 米づくりを基幹としながら、高度かつ集約的な作付け作目体系を組み合わせた複合経営（大豆、野菜、花き等）の推進
- 高品質・高付加価値を有する農産物の栽培技術の検討及び加工品の開発
- 花きの面積拡大と新品種の導入
- 畜産物の品質と生産性の向上

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 集落の話し合いと農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の促進
- 野菜、切花の生産農家の確保と栽培規模の拡大
- 6次産業化や農商工が連携した特産品開発による農業所得の向上
- 新規就農者の確保・育成のための相談窓口の設置

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 阿賀野川右岸地区等のかんがい排水施設整備の推進
- 砂丘畑については、総合的な農業生産基盤の整備を検討
- 水田地帯の大区画化による中・大型機械に対応した整備
- 中・大型高性能機械に対応した農道の整備を検討

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための排水施設及び防災体制の整備の促進
- 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道の整備
- 豊かな自然環境と景観や伝統文化に調和した農村集落の形成
- 生物多様性の保全や地球温暖化防止に効果の高い営農活動の推進
- 保安林を活用した新産業の創出と間伐材のバイオマス利活用の推進

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- 阿賀野川や福島潟、農業用排水路等の親水化整備とネットワークロードの形成
- 農業体験施設（市民農園）等を通じた都市と農村の交流の促進
- ビュー福島潟、潟来亭周辺の景観を活かした活動の展開

## (2) 中央・東・江南区

### 地域の特性と課題

- 「にいがた食の陣」、「食と花の世界フォーラム」などの食と花のイベントを通じて、都市と農村や生産者と消費者の交流が図られています。
- 亀田の「三・九の市」は、320年の伝統を持つ定期市です。
- 水稲単作経営と、米を中心に野菜、果樹、畜産、球根、きのこ等の複合経営を主力とする農業経営が展開されています。果樹では、日本なし、うめの産地であり、近年は、チューリップ、ながいもも有名です。また、酪農家の多い地域でもあります。
- 水田のほ場整備率が低い地区も存在します。
- 豪農伊藤家の邸宅を博物館とした北方文化博物館のほか、サンバイシ神楽や船戸山神楽などの伝統芸能、信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、鳥屋野潟などの自然資源があります。
- 水田、チューリップ畑、自然堤防上の集落と一体となったなし畑、住宅地のうめ畑が美しい農村景観を形成しています。
- 信濃川・阿賀野川の二大河川に挟まれた最末流地帯で海拔0m以下の農地が存在し、台風や豪雨の際に水害に弱い側面があります。また市街地周辺の住宅開発の進展により生活排水の増加が見られるなど、都市化の進んでいる農村地域においては、用排水路の水質が悪化している所も見られます。

### 農家数・人口

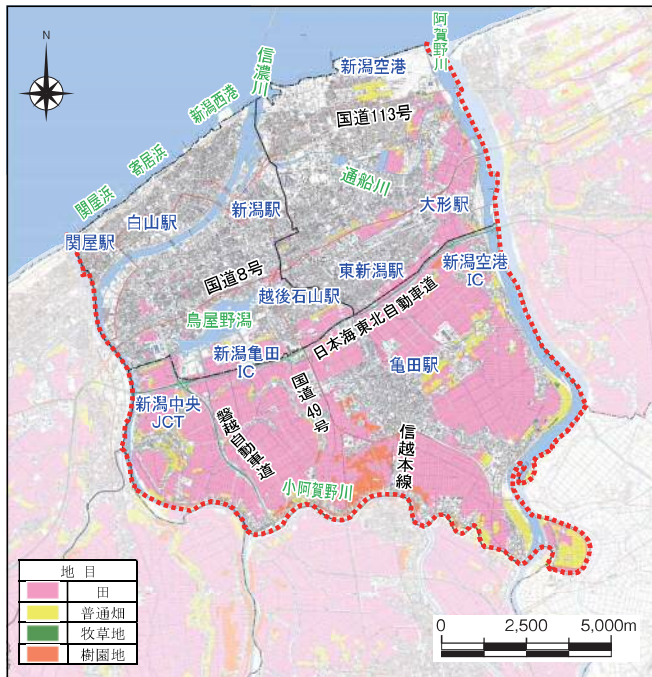
■ 総農家数：2,366戸				■ 土地持ち非農家：1,424戸
■ 農業就業人口（販売農家） ：3,396人	■ 専業 376戸	■ 第1種兼業 458戸	■ 第2種兼業 917戸	■ 自給的 615戸

出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

### 主要作物

米、大豆、だいこん、にんじん、ばれいしょ、さといも、ながいも、たまねぎ、はくさい、女池菜、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、きゅうり、なす、十全なす、トマト、スイートコーン、いちご、えだまめ、日本なし、西洋なし、うめ、ぶどう、ゆり・キクの切花、アイリス・スイセン・チューリップの球根、キク、乳用牛 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地



出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図25000」（国土地理院）より作成

### ● 経営耕地面積

（平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積 (ha)	4,336
田	3,874
畑	348
樹園地	114



## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 米づくりを基幹としながら経営規模の拡大と、都市近郊の立地条件を活かした米と大豆・転作野菜、果樹、花き、畜産等の複合経営を推進
- ながいも、キャベツ、スイートコーン、ごぼう、ねぎ、たまねぎ、女池菜、なす、えだまめ、そらまめ、切花等の産地強化及び新品目の導入と産地の形成
- チューリップの特産地としての強化
- 広域的ななしの産地形成と「新潟地区なし広域選果施設」の有効利用
- 酪農の強化、ブランド育成

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 6次産業化及び農商工連携の推進による農業所得の向上
- 人・農地プランによる地域の話し合いと担い手への農地集積を促進し、効率的な農業経営を推進
- 新規就農者の育成と確保のため支援機能の充実

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 水田地帯の大区画化による中・大型機械化への対応と、かんがい排水事業及び農地防災事業等による汎用化の促進
- 畑作地帯は、団地化を推進
- 果樹地帯は、生産農家の確保と栽培面積の拡大及び品種更新による産地化、ほ場及び農道の整備への対応
- 近郊施設園芸地帯の育成
- 本所・蔵岡排水機場のストックマネジメントの実施
- 親松排水機場など、かんがい排水施設整備の推進
- 中・大型高性能機械に対応した農道の整備を検討

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための排水施設及び防災体制の整備及び田んぼガムの促進
- 信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、烏屋野潟・栗の木川・通船川などの地域の河川の多自然化整備
- 農業用排水路の多自然化整備
- 環境用水・浄化水の導入
- 亀田郷地域用水対策協議会による水辺環境整備の促進
- 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道の整備
- 豊かな自然環境と調和した農村集落の形成
- スプロール的土地利用の排除
- 信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、農業用排水路等の親水化整備
- 烏屋野潟の水質浄化と環境保全の取り組みの推進

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- （財）亀田郷地域センターを活用した生産者と消費者の交流促進
- 「三・九の市」などによる農消交流の活性化
- 地域づくり協議会によるコミュニティ活性化の促進



### (3) 秋葉区

地域の特性と課題

- 全国的にも有数の「花のまち」です。
- 「日本ボケ展」、「さつきまつり」、「雪割草の展示会」、「寒梅まつり」、「クリスマスローズ展」など、花のイベントで多数の買物客や見物客が集まります。
- 長い伝統を誇る植木、盆栽の園芸業が盛んな地で、特に、ボケ（放春花）の育種では全国的に有名な産地です。また、花の品質が良く首都圏等の県外での評価も高いクリスマスローズは、愛好家の方からも大変人気があります。
- 水田のほか整備状況は、大規模区画ほ場の占める割合が低い状況にあります。
- 新潟薬科大学を核とした産・学・官の連携による研究交流拠点の整備が求められています。
- 小須戸には、昔の水陸交通の拠点の名残を今に伝える町屋造の家屋や雁木が、新津には、石油、鉄道の遺産が残されています。また、農村地域には里神楽・獅子踊りなどの伝統芸能が継承されてきました。
- 阿賀野川・信濃川・小阿賀野川・新津川・能代川、丘陵沿いの池沼、新津丘陵の里山等、動植物の貴重な生息空間が点在しています。
- 平野に点在する集落、満願寺稲架木（はさぎ）並木、信濃川堤防沿いの桜並木、里山の自然と調和した農村景観、菩提寺山等の山々の自然風景等、多くの美しい景観を有しています。
- 都市排水の農業水利施設への流入増加により、水利施設への負担が増大しています。

農家数・人口

■総農家数：1,667戸

専業 238戸	第1種兼業 240戸	第2種兼業 761戸	自給的 428戸
------------	---------------	---------------	-------------

■土地持ち非農家：1,628戸

■農業就業人口（販売農家）

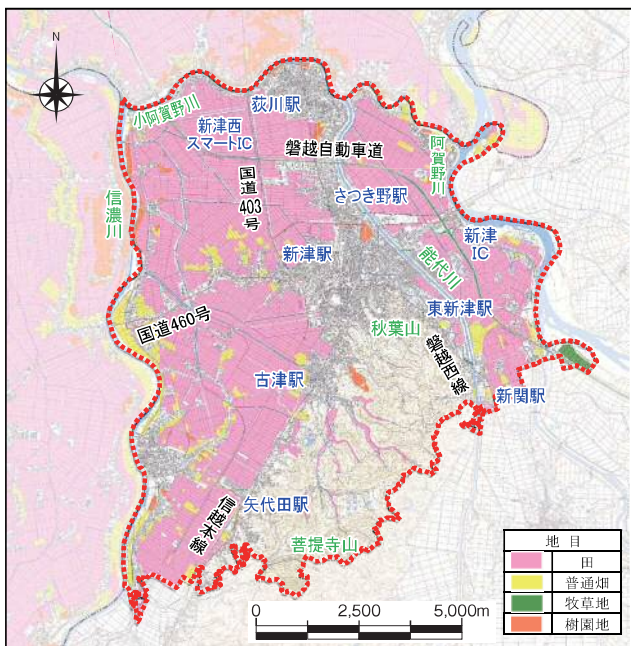
：2,162人

出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

主要作物

米、大豆、大麦、えだまめ、さといも、キャベツ、いちご、プチヴェール、モロヘイヤ、ぼれいしょ、たまねぎ、ねぎ、なす、トマト、かき、日本なし、もも、ぶどう、チューリップ切花、ユリ切花、チューリップ球根、クリスマスローズ、サツキ・アザレア・シャクナゲ・ボケ・ツバキ・ボタン・雪割草等の鉢花、寒梅・ボケ等の花木、乳用牛 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地



出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図2500C」（国土地理院）より作成

#### ●経営耕地面積

（平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積 (ha)	3,347
田	3,151
畑	159
樹園地	37



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 売れる米づくり体制の強化と複合営農の強化
- 非主食用米の生産拡大
- えだまめ、プチヴェール、さといも等の産地形成と生産拡大
- 少量多品目の野菜などの多様な販売促進
- 花きなど高収益作目の振興及び多様な新産地育成
- 新潟薬科大学と連携した作物の持つ機能性成分の研究並びに商品開発

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 生産組織及び集落営農組織の規模拡大、多角化、法人化等の推進
- 新潟バイオリサーチパーク構想<sup>※1</sup>の推進

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 優良農地の確保・保全と効率的な土地利用の推進による、農業生産性の向上
- 国営土地改良事業等による用排水施設整備の推進
- ほ場整備及び農道整備の推進
- パイプかんがい、暗渠排水等の整備
- 既存の水利施設の適正な管理、更新

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 生態系に配慮した高生産性ほ場整備の検討
- 花木産業、ハサ木のある田園風景、桜並木の活用等、花とみどりの景観創造
- 町屋造の歴史ある町並みの保全
- 信濃川・阿賀野川・新津川・能代川等の自然環境の教育利用
- 新津丘陵の保護や民間ボランティアを活用した管理システムの構築
- 小阿賀野川沿い、新津丘陵周辺地区、小須戸の町屋造等の良好な集落・町並み景観の保全・活用
- 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道の整備
- ゆとりある農村集落の形成

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- 「道の駅・花夢里にいつ」による花き・花木の情報発信
- 「花とみどりのシンボルゾーン」を中心とした都市・農村交流の推進
- 信濃川・阿賀野川・新津川・能代川等の親水化整備
- 新津市場（一・六市）及び小須戸市場（三・八市）の観光活用
- 新津丘陵をはじめとする地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進
- 花とみどりを巡る自転車道の推進

#### ※1：新潟バイオリサーチパーク構想

- ◆ 近年、バイオテクノロジーが注目されており、新潟県においても農水産資源やそれらの加工産業である食品産業などの新潟産バイオ関連資産の充実、強化及びこれらの資産をさらに活かした新たなバイオ産業の創出により、これからの時代に対応することが強く望まれています。
- ◆ 本市では、新潟薬科大学周辺一帯に生命・健康科学関連分野の知識や情報を集約・集積し、人材育成、産・学・官及び地域の連携による研究開発基盤の充実、強化を図る「新潟バイオリサーチパーク構想」を進めています。

## (4) 南区

### 地域の特性と課題

- 白根大凧合戦、国指定重要文化財の旧笹川家住宅のほかにも、四季折々の田園風景や各地区の祭り、角兵衛獅子や神楽舞など伝統芸能が残されており、都市・農村交流の資源としての活用が期待されます。
- 水田のほ場整備状況が本市の中でも高い状況にあります。一部には海拔0m以下の農地が存在し、集中豪雨により湛水被害を受けることがあります。
- 稲作を基幹に、果樹、野菜、球根、切花、花木等の園芸作物の栽培が盛んです。
- 西洋なし「ル レクチエ」発祥の地であり、本市における果樹生産の拠点地域で、なし、もも、ぶどうについては県内一の生産地であり、チューリップ切花も県内一の生産地となっています。
- 観光果樹園も多く、観光資源となっています。また、フルーツの直売場は市内でも充実しています。
- 市内でも養豚が盛んで、豚肉は「しろねポーク」としてブランド化に取り組んでいます。
- 公益社団法人「新潟市南区農業振興公社」が市やJA、農業関係機関団体と連携して、農業振興のための様々な事業を展開しています。

### 農家数・人口

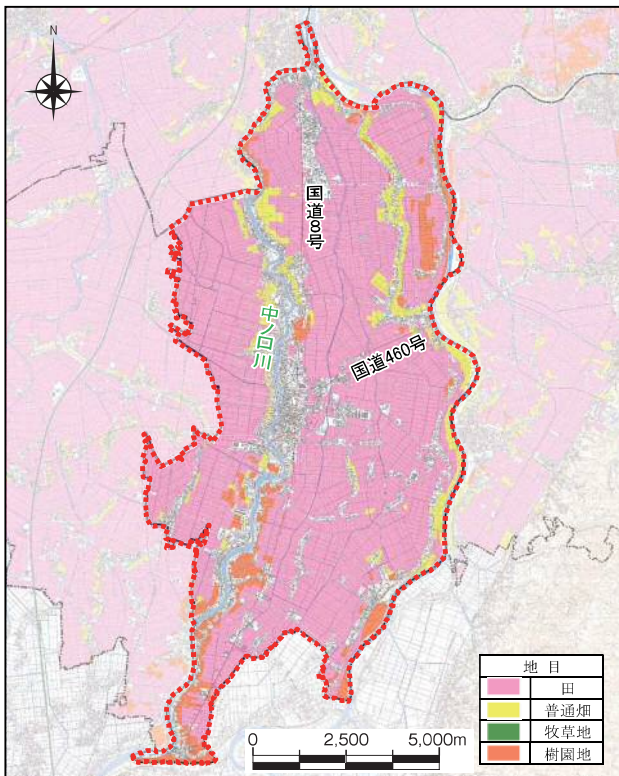
■ 総農家数：2,272戸	■ 土地持ち非農家：874戸								
■ 農業就業人口（販売農家）：3,627人									
<table border="1"> <tr> <th>専業</th> <th>第1種兼業</th> <th>第2種兼業</th> <th>自給的</th> </tr> <tr> <td>331戸</td> <td>552戸</td> <td>898戸</td> <td>491戸</td> </tr> </table>	専業	第1種兼業	第2種兼業	自給的	331戸	552戸	898戸	491戸	
専業	第1種兼業	第2種兼業	自給的						
331戸	552戸	898戸	491戸						

出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

### 主要作物

米、大豆、だいこん、ばれいしょ、さといも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、いちご、メロン、えだまめ、食用菊、おおば、きのこ、りんご、日本なし、西洋なし、もも、ぶどう、チューリップ・ゆりの切花、アザレア・シャクナゲの花木、乳用牛、豚 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地



出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図25000」（国土地理院）より作成

### ● 経営耕地面積

（平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積 (ha)	5,348
田	4,701
畑	262
樹園地	385





## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 南区農業の基幹作物である「米」の現状を踏まえ、より付加価値の高い、用途別高品質米の生産を促進し、売れる米づくりを促進
- 安心・安全な生産を推進するとともに、有機肥料を中心としたおいしい米づくりなど、環境保全型の米づくりを奨励
- 米の消費量の減少は今後も続くことが予想され、引き続き需給調整が必要となるため、園芸作物の生産拡大を推進
- 転作作物の産地化、ブランド化を進め、生産者の組織化や作付地の団地化の取り組みを支援

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 個別経営体、組織経営体の法人化への促進
- 集落農業の維持発展のため、個別の状況に応じた営農の組織化
- 地域農業の担い手への農地集積の促進と、生産性や経営能力の高い経営体の育成
- 経営能力向上のための研修会や経営診断、先進技術の導入、家族経営協定の締結などによる経営管理の合理化
- 豊富で良質・新鮮な農産物を活かして、農商工連携による6次産業化を推進し、付加価値の高い農産品の開発を促進
- 6次産業化による地域ビジネスの展開や新たな産業の創出、雇用の創出による地域全体の所得増大と活性化

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 集落の話し合いと農地中間管理事業による農地の効率的な活用
- 防災と農作物の湛水被害を未然に防止するため、排水路改修による排水能力の強化
- 用水のパイプライン化と未整備地区のほ場整備事業の検討

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 農地の持つ環境保全機能を維持するため、地域内の農業者や住民が共同で取り組む地域活動を支援
- 多様な野生生物の生息空間である河川や農業水路、農地を保全し、生物多様性に配慮した生産活動を促進
- 魅力的な農村景観の継承
- 農地や水環境の維持など、環境保全活動を通じた農村コミュニティを育成
- 各地域の伝統的な祭りや行事、民俗芸能の継承・発展
- 公共下水道の整備促進と、それらの計画区域以外での合併浄化槽の普及による生活環境の向上
- 南区農業振興公社を主体とした南区資源循環事業（堆肥散布システム）の実施、普及
- エコファーマーの認証推進と化学合成農薬・化学合成肥料使用の5割低減の啓発、普及

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- アグリパークと区内の観光農園、観光施設の連携と周遊プランや周辺農家と連携した農業体験プログラムを推進し、交流人口を拡大

## (5) 西区

### 地域の特性と課題

- 日本海の夕日や海辺空間、信濃川、佐潟などの豊富な観光資源に恵まれています。
- 海拔0m以下の農地が存在し、台風や豪雨による農地の湛水被害が発生しやすい条件にあります。
- 新川河口排水機場など、基幹的水利施設の老朽化に対応するための整備が進められています。
- 米を中心に野菜、果実、花き・球根等が生産され、海岸砂丘地帯では、すいか、だいこん、ねぎ等が生産されています。全国的に知名度の高い「くろさき茶豆」も生産されています。
- 信濃川、西川、新川、佐潟、御手洗潟、農業用排水路などの水辺空間や海岸保安林は、都市の中に豊かな自然環境を創出し、動植物を育む空間となっています。
- 西川と水田の広がり、砂丘の畑地と海岸保安林などの農業生産地の風景が見られます。

### 農家数・人口

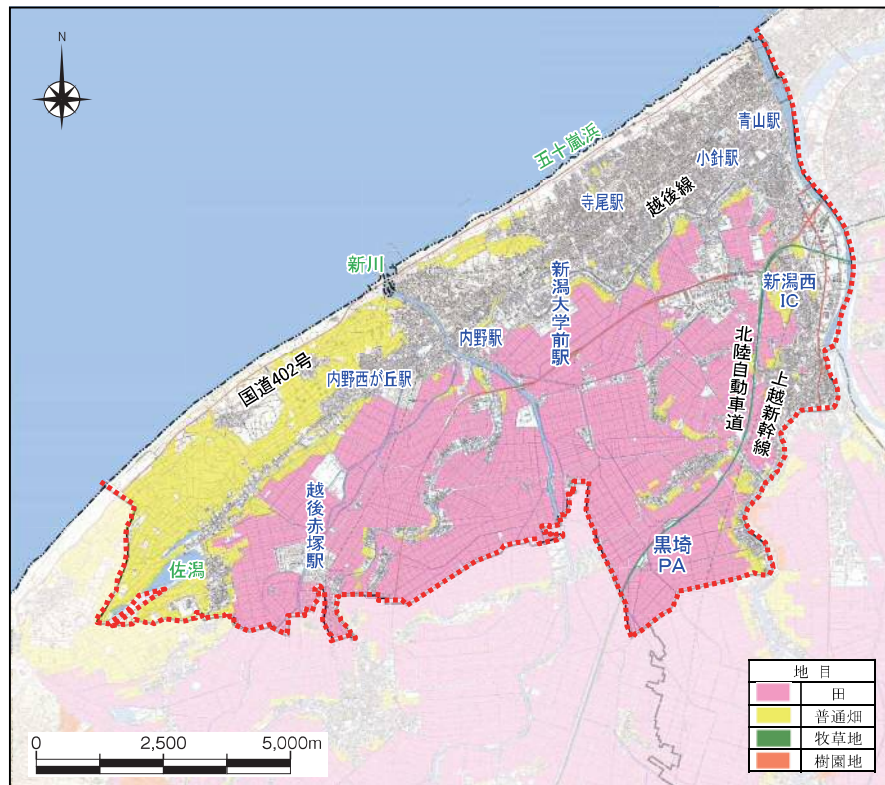
■ 総農家数：1,446戸				■ 土地持ち非農家：1,109戸
■ 専業 269戸	■ 第1種兼業 382戸	■ 第2種兼業 534戸	■ 自給的 261戸	■ 農業就業人口（販売農家） ：2,491人

出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

### 主要作物

米、すいか、だいこん、えだまめ、ねぎ、さつまいも、メロン、ブロッコリー、かぶ、葉たばこ、チューリップ・ゆりの球根切花 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

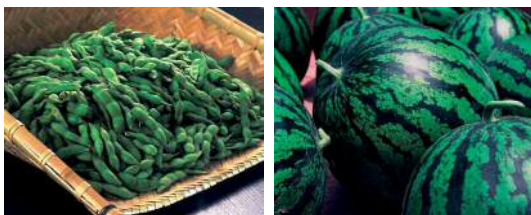


出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図25000」（国土地理院）より作成

### ● 経営耕地面積

（平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積 (ha)	3,913
田	3,122
畑	776
樹園地	15



## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 米の品質向上と安定化（一等米比率の高位化）と非主食用米の取り組み推進
- 新潟すいか、くろさき茶豆、さつまいも（いもジェンヌ）等の特産農産物の生産拡大
- 砂丘地園芸（すいか、だいこん、ねぎ、さつまいも）の推進
- チューリップ・ゆり等の球根・切花の生産拡大と品質向上
- 米と園芸作物を組み合わせた複合経営の推進
- 農商工連携による特産農産物を活かした商品開発と高付加価値化の推進
- 積極的な特産農産物の情報発信によるブランド化の推進

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 担い手への農地集積と生産性向上の推進
- 生産組織及び営農組織の育成・法人化の推進
- 野菜、球根・切花の生産農家の確保と栽培規模の拡大

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 水田のかんがい排水事業及び農地防災事業による汎用化推進
- 農業基盤整備に伴う区画拡大、暗渠排水整備、客土の推進
- 新川河口排水機場など、用排水施設整備の推進
- 水田の汎用化や土づくり、水利用状況を踏まえた畑地化の推進
- 排水路整備による農作物の湛水被害防止の推進
- 多面的機能支払の活用による営農活動の推進

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 砂丘地の景観や海岸保安林の保全
- ラムサール条約登録湿地の佐潟周辺環境保全
- 農村集落による農地や農業用施設、農業用水等の資源などの保全活動の支援
- 豊かな田園風景と良好な集落景観の保全
- 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進
- 公共下水道等排水施設の整備による農業用排水と生活雑排水の分離

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- 農業まつりやあさ市の実施による生産者と消費者の交流推進
- 農業体験教室の実施による農業への理解の推進
- 市民農園の運営による農作業の場と機会の提供
- 小学校との連携による農作業体験の実施



## (6) 西蒲区

### 地域の特性と課題

- 佐渡弥彦米山国定公園、ハザ並木、岩室温泉、水と土の歴史を刻む上堰潟、民間によるワイン工場があるなど観光資源が本市において特に豊富な地区です。
- 佐渡弥彦米山国定公園の緑の山並みを背景として、水田を基調にハザ並木が残る景観は、本市を代表する農村景観となっています。
- 中小河川はホタルなど身近な生物及び希少生物の生息空間となっており、その貴重な自然資源の保護が図られています。
- 西蒲区の基幹産業は農業であり、稲作のほか、本市の「食と花の銘産品」に指定されている「越王おけさ柿」、「巨峰」、いちじく「越の雫」をはじめとする果樹や、砂丘地帯を中心に多様な園芸作物の生産も盛んです。
- 畜産の産出額が本市の中でも多く、畜産業の拠点地域となっています。
- 農産物の付加価値向上や、6次産業化などに向けた新たな事業展開が求められています。
- 水田のは場整備率は低く、一部、海拔0m以下の農地が存在します。
- 地域の一部では、家庭からの生活雑排水が農業用排水路へ排出されているため、環境悪化や農業用水の水質悪化等の問題を引き起こしています。

### 農家数・人口

- 総農家数：2,947戸
- 土地持ち非農家：2,542戸
- 農業就業人口（販売農家）：4,323人

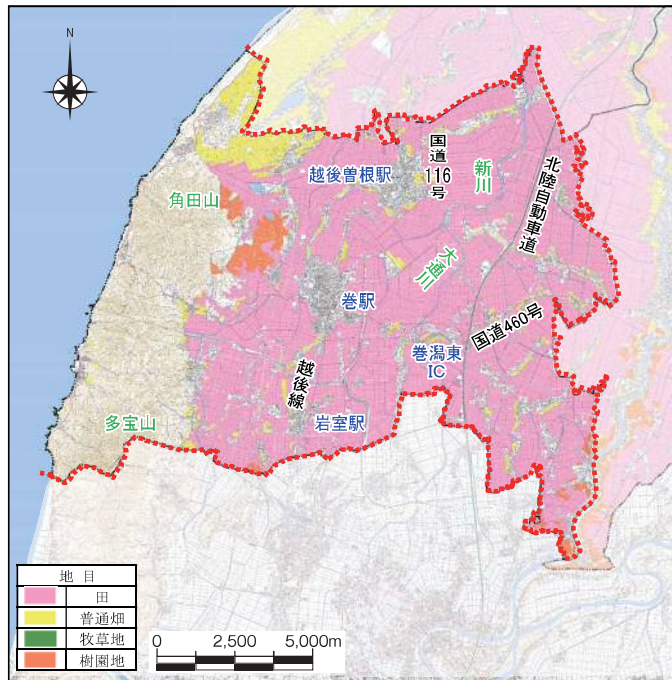


出典：「2010年世界農林業センサス」農林水産省

### 主要作物

米、大豆、ねぎ、ごぼう、ながいも、だいこん、アスパラガス、トマト、かぶ、えだまめ、きゅうり、ししとう、そらまめ、食用菊、にら、みつば（水耕）、すいか、メロン、いちご、かき、いちじく、ぶどう、もも、日本なし、西洋なし、切花、ぼけ、乳用牛、豚 等

※主要作物の太字下線：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地



出典：「国土数値情報 土地利用3次メッシュデータ（平成21年度）」（国土交通省）  
「電子地形図25000」（国土地理院）より作成

### ● 経営耕地面積

（平成22（2010）年度・販売農家）

経営耕地面積 (ha)	7,155
田	6,678
畑	318
樹園地	159



## 農業・農村の振興方策（地域の特徴的な取り組み）

### 1 競争力のある食と花の確立〔生産・販売に関する取り組み〕

- 米づくりを基幹としながら、野菜、果樹、畜産との複合経営の充実
- 砂丘地園芸（すいか、メロン、だいこん、ねぎ、花き等）の産地のイメージアップ、流通販売面の強化
- そらまめ、えだまめ、すいか、ねぎ、だいこん、ながいも、いちごの生産農家の確保・生産拡大とブランド化
- 良品質果樹地帯の振興
- 柿・いちじくの銘産品指定による販売促進強化
- チューリップ・ゆり等の優良球根の確保による切花品質の向上
- 畜産の経営安定化と環境対策や高品質化、ブランド販売の展開
- 新技術の導入などの推進

### 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成〔担い手に関する取り組み〕

- 農地集積、経営合理化に向けた地域の取り組みの推進
- 認定農業者及び集落営農組織の育成・法人化の推進
- 耕作放棄地対策と新たな担い手の確保

### 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全〔農業生産基盤に関する取り組み〕

- 水田の基盤整備を推進するとともに、環境保全型農業を目指した土地利用及び施設整備、汎用化の促進
- 海岸砂丘地帯の集団優良農地の確保等による畑作の振興
- 西蒲原地域の用水の必要水量の確保とかんがい施設整備の推進
- 巻東町・打越・福島・桑山・山島・馬堀地区のほ場整備の推進
- 中郷屋地区の農道整備の推進
- 砂丘地の荒廃防止・湛水対策の推進

### 4 魅力ある田園環境の創出〔農業と環境の共生に関する取り組み〕

- 海岸部の景観整備、角田山麓や里山の景観に調和した生活基盤の整備
- ハザ並木、桜並木の充実整備、集落内樹木、屋敷林、鎮守の森、史跡等の歴史・文化資源の保全・調査
- 中ノ口川沿い、岩室地区の良好な集落景観の保全・活用
- 生物多様性に配慮した地域用水の保全と活用
- 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進
- 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道の整備
- 環境保全型農業の推進
- 耕畜連携による循環型農業の推進

### 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり〔多様な体験と交流に関する取り組み〕

- 産学官連携による新たな加工品の開発など、6次産業化の推進
- 直売所や農家レストランなどを活用した交流の推進
- 農業体験等の機会・場の提供による交流の推進

